

「生命のたんじょう」

清瀬第七小学校 小川 海人

ぼくは、生命の誕生を学習して、赤ちゃんが生まれるまでの日数や「羊水」「たいばん」「へそのお」など、赤ちゃんに栄養を届ける仕組みがあることなど、新しく知ったことがたくさんありました。この授業で、須山先生に教えてもらったことは、大人になってからも役立つと思うので、とても嬉しかったです。

実際に妊婦さんの体験をしてみると、お腹が大きくて、自分の足もとの物を拾うのも大変だということを知りました。

でも一番嬉しいことは赤ちゃんが生まれて、家族が増えることだとも思いました。

そしてこれからの未来で、赤ちゃんを産んで、子孫を残していくけれど、その中で大切なことは、みんなで妊婦さんを守っていくことではないかと思います。なぜかというと、妊婦さんを守らないと、赤ちゃんが傷ついてしまうからです。だからみんなで妊婦さんを守っていければいいと思います。

ぼくはこれから、妊婦さんを見かけたら、大変そうなことを手伝ってあげたいです。

「生命のたんじょう」

清瀬第七小学校 佐藤 七海

今回の学習で、実際のにんぷさんのおなかの重さを体験してみて、にんぷさんは、しゃがむことがすごく大変だということが分かりました。だからでんしゃににんぷさんがいたら席をゆずれるようにしたいです。また、じんつうはすごく痛いことや、赤ちゃんが産まれたらすごくうれしいことや、出産後はうれしすぎて痛みを忘れる事ができるということを知りました。そして赤ちゃんは、母親のおなかの中で子宮につつまれ、たいばんの中にある栄養を、へそのおからとっています。このことは、赤ちゃんの命に関わるため、絶対に忘れないようにします。

私は赤ちゃんを産むというのは、こわいイメージでしたが、今回の学習で赤ちゃんを産むうれしさがすごく伝わりました。私も赤ちゃんを産むときの痛さをのりこえ、赤ちゃんの顔を見たときのうれしさを知ることができたらいいです。



「生命のたんじょう」

清瀬第七小学校 津田 柚花

今回の学習で、生命のたん生について知っていたようで、あまり知らなかったことに気付きました。新しく知ったことが多く、赤ちゃんが産まれることについて聞き、考えることで、学習する前よりもイメージがわきました。そして子宮の中のしくみがとてもおもしろいと感じました。なので実際にお母さんのお腹の中にもう一度入ってみたいなと思いました。

また今回、にんぷさんの体験をして、生活の中で大変なことがたくさんあることを知りました。なのでにんぷさんが大変そうにしていたら、自分でできることを見つけて手伝っていききたいです。

今回の学習で前よりも興味がわいたので、もっと生命のたん生について知っていることを増やしていきたいです。また命をつないで子孫を増やしていくことの大切さを感じることができました。